道後温泉葛城「琴の庭」開業1周年記念座談会

道後温泉の次の100年へ

木の香りただよう生湯の宿「琴の庭」1周年

道後温泉葛城「琴の庭」（松山市道後湯月町）は2020年4月のオープン以来、訪れる宿泊客に、瀬戸内・愛媛の食材のうまみを引き立たせた創作料理を提供してきました。今回、開業1周年を記念し、食材の選定を四国に広げて四国の旬の味をまるごと楽しめるよう、食事をリニューアルします。

田中さんの提案をホテル葛城花ゆづき総料理長の遠藤一義さん（73）をはじめとする料理人が形にします。

新メニューの考案を依頼されたのは、徳島市のフードコーディネーター田中美和さん（45）です。田中さんは「女性が食べたいと思う野菜をたっぷり取り入れ、見た目も鮮やかでアクセントのある風味と、葛城さんで受け継がれるだしの味付けを融合させました」と語ります。

田中さんの提案をホテル葛城花ゆづき総料理長の遠藤一義さん（73）をはじめとする料理人が形にします。遠藤さんは「一口サイズの手まりずしなど女性らしい目線や、考え方が随所に取り入れられています。お客さまに満足していただけると思います」と自信をのぞかせます。

四国の食材は例えば、愛媛ならタイや伊予牛、高知ならカツオやフルーツトマト、徳島は鳴門ワカメや鳴門金時芋、香川ではうどん、ソラマメなどを使います。加えて田中さんがこだわったのが調味料です。海水を2週間以上かけて平釜で煮て結晶化させた塩や、天然醸造のしょうゆ、もろみ、みそなどの発酵食品を多く用います。「厳選した〝本物〟の調味料により野菜や肉、魚のうまみが引き出されます」。

遠藤さんは「私たちも初めての取り組みです。厨房の料理人は今回の経験が今後の成長に役立つと思います」と前向きに捉えています。「器やお重のふたを開けたときの喜び、料理を口にしたときの感動を届けたいです」と田中さん。2人ともリニューアルを楽しみにしています。

田中 美和（たなか・みわ）
フードコーディネーター
料理教室や食に関する商品開発などを手掛ける株式会社MIZUYA（徳島市）の代表取締役社長。
高校卒業後、身体障害者施設に調理員として10年間勤務。
2005年、フードコーディネーターの資格取得後、09年に起業。企業理念は「食で人と人をつなぎ笑顔を届ける」。
地元民放番組の料理コーナーに出演経験があるほか、みそ製造会社の新商品開発に協力するなど徳島県内外で活動している。

ホテル葛城花ゆづき総料理長 遠藤 一義

琴の庭 1周年記念 1日限定3組（1組2～4名さま）のお昼膳　お問い合わせはお電話で。
料金／通常15,000円（税込み）➡ 特別価格として10,000円（税込み）
時間／12:00～14:00　期間／4月末まで ◆オリジナル生ジュースプレゼント

100年後も生きる宿づくり。

「道後らしさ」を語る建物に3者が込めた愛と仕掛け

道後への思いが込められた「琴の庭」

ヴィラメゾネット「萌黄」の石庭露天風呂

大木／渡邉さんのプランは斬新でしたね。車を地下へ下ろす立体駐車場や、丸太の姿を生かすように切った木を使うアイデアなど、なかなか普通では考えつかないですよ。

渡邉／「道後温泉で建てるならどうするんだ？」という問いかけに対し、素直にお話を持っていき、大木社長や杉本さんにご指導いただきながら、現在のかたちをつくっていきました。僕の考えた「道後らしさ」とは『めぐる』でした。敷地の傾斜を生かし、スロープを上ったり下ったりして、視線の異なる場所から道後の風景を眺めてもらえる空間を計画しました。

そんなふうに宿の中をめぐりながら、感じる、語らう、味わうといったさまざまな非日常感を楽しんでいただく。そして宿から出れば、道後温泉本館などをめぐる楽しみがある。僕の考えた道後らしさとは、かたちではなく、そういったためぐる動きでした。

杉本／木については、大木社長が源泉掛け流しの温泉「生湯（なまゆ）」を「生木（なまき）」と一緒に味わってもらいたいという構想を描いておられ、愛媛県産の木を取り入れてほしいとのことでしたから、愛媛県産の檜（ひのき）と杉を中心に、適材適所に木材を使うことにしました。

木の性格を生かし、色の変化などに時の経過を感じてもらえるようにしようと考えました。それを実現するための仕掛けの一つとして、渡邉さんから出てきたアイデアが、丸太を切ったままの状態で木材を使うということでした。

渡邉／丸太を切ったままという表情を出したいと考え、それを施工側へお願いしたのですが、実際にそれをかたちにする施工者の方たちは大変ですよね。

太さが違う、反るといったマイナスというか、越えなければいけないハードルがあります。それを理解したうえで住友林業さんは受け入れてくださいました。普通だったら断られるはずです。

大木／木に対する住友林業さんの愛にも感銘を受けました。建築を始める1年くらい前から、外壁に使う木を外に置いていましたよね。雨風にさらし、春夏秋冬を経て、木の変化を観察されていました。あの取り組みを見て、木をこよなく愛している会社だな、と再認識いたしました。

杉本／渡邉さんが話したような木の性格を、大木社長ならマイナス点ではなく、造形として愛してくれるというのが前提にありました。そういう性格を愛してくれる人が増えれば、日本の風景はより魅力的に変わっていくんじゃないか、そういう思いを3人で話しながら計画しましたよね。

大木／当時の打ち合わせは今みたいに和やかではありませんでしたけれどね。それぞれが挑戦する、真剣勝負でした。

杉本／そうでしたね。私は、永く愛される場所を道後につくるプロジェクトに挑戦させてもらえたことの喜びを改めて感じています。

そして、琴の庭を末永くよろしくお願いします、という気持ちです。

大木／「第12回まつやま景観賞」で、「木材を多く使った外観は落ち着いた佇まいを生み、隣接する竹林が背景となって昔懐かしい道後の風景を感じさせます」との選評をいただきました。

私たちが話し合ってきたことが建物を通して伝わっているんだ、と非常にうれしく思いました。

渡邉／そうですね。ここを訪れた人たちに「こういうかたちもあるんだ」と認識してもらい、住宅や、道後界隈（かいわい）の建物などに広がっていくと、なおうれしいですよね。

大木／オープンして1年で、この宿がどうかを語るにはまだ早いと考えています。少しずつ少しずつ年輪を重ねていかなければなりません。

この土地は、伊佐庭如矢氏が道後温泉本館建設時に造った庭園「振鷺園」の一角です。その歴史と彼の心、70余年前にここで旅館を始めた父親と母親の思い。それらとともに、建設に携わっていただいた皆さまのおかげでかたちにすることができたこの建物も大事にしてまいります。

長きにわたる工事期間中、近隣の皆さまにはご迷惑をおかけいたしました。この場をお借りして、皆さまへのお詫びと、あたたかなご理解への感謝を申し上げます。

四季の風景が楽しめるエントランス・ロビー

思いの重なりを経て動きだしたプロジェクト

大木／琴の庭が「第12回まつやま景観賞」建築部門きらめき奨励賞をいただきました。

この機会に、建築に携わっていただいたお二人と共に、この宿づくりについて振り返り、語り合いたいと思い、お集まりいただきました。

ご存じのように、建替えには二つの思いがありました。

一つは父親への思い。「旅館をするなら、いつかは道後で」と考えていた父は70余年前にこの辺りの土地を手に入れ、夢を実現させました。

もう一つは、初代道後湯之町町長の伊佐庭如矢氏が100年後のことを考え、道後温泉本館を建築したことに対する敬意。それらが背景となって、道後の歴史とまちの佇（たたず）まいになじむ、100年後も魅力ある木造の宿をつくりたいと考えました。

それで、木造なら住友林業さん以外にないだろうと、住友林業本社の門を叩いたわけですが、「うちでは応じられないかもしれない」というようなお答えでした。

杉本／宿泊施設の実績がなかったものですから難しい点が多々ありました。ただ、私が所属している部署である、住宅以外の建物に挑戦していく「木化（MOCCA）事業」で、宿泊施設を建てたいという思いはありました。そして、大木社長の熱い思いに心を動かされ、現地を拝見させていただくことになったのです。

大木／そこに至るまでに確か半年くらいかかりましたかね。

杉本／そうですね。思いを共有するための時間でした。大木社長の思いに触れ、「こういう所に泊まりたいな」と思ってもらえる宿づくりに挑戦しなければいけない。住友林業が大事にしてきた木を生かしてつくることができる、そういう思い、「ぜひ私たちに」と。

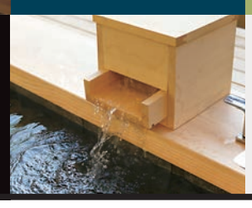
そこからは、設計の渡邉さんをはじめいろいろな方々と共に進めていくことになったわけです。渡邉さんと初めてお会いしたとき、私たちの想像以上の斬新なアイデアを次々と提案してくれたことが印象に残っています。

渡邉／道後に新しい旅館・ホテルがいろいろ建っていましたが、その様な中、お声を掛けていただき大変うれしく思いました。それと同時に「道後にふさわしい建物とはどういうものか」を考えはじめていたように記憶しています。

株式会社 ホテル葛城
代表取締役社長 大木 正治

住友林業 株式会社
建築市場開発部
副部長 杉本 貴一

ボールアーキテクチャ 合同会社
一級建築士
CEO 渡邉 純哉



琴の庭サイト

Googleマップ

道後温泉 琴の庭

愛媛県松山市道後湯月町4-16
ご予約・お問い合わせ　089-931-5141
アクセス／JR予讃線松山駅下車、タクシーで15分、
市電道後温泉駅終点下車徒歩5分。松山ICより車で20分。

ホテル葛城 Spa Resort 道後　ゆづき　琴の庭

道後温泉「琴の庭」は第12回まつやま景観賞きらめき奨励賞（建築部門）を受賞いたしました

施工　住友林業・BRC特定企業体
代表企業：住友林業株式会社　建築市場開発部
東京都千代田区大手町一丁目3番2
TEL 03-3214-2535

木と生きる幸福
住友林業
https://sfc.jp/mocca/